

Port of Hachinohe

No. **37**
DEC2012

---Maritime & Trade Report---

- 今号の主な記事
- 八戸港コンテナ定期航路交流ミッション 2012
- 台湾・香港国際食品見本市へのブース出展
- 八戸港セミナー開催
- 八戸市海外経済協力員レポート(香港)
- FDA(米食品医薬品局)の食品施設検査はこう行われる

八戸港コンテナ定期航路交流ミッション2012

八戸港国際物流拠点化推進協議会(会長:八戸市長 小林眞)では、今年10月14日(日)から10月20日(土)までの7日間にわたり、大韓民国及び台湾を訪問しました。

韓国では、八戸港にコンテナ定期航路を就航している南星海運株式会社の本社を訪問したほか、ソウル市内において八戸港をPRする「八戸港レセプション」を開催。また、八戸港の港湾整備の方向性や貿易振興の参考とするため、世界最先端のターミナル設備を有する釜山新港を視察しました。

台湾では、主に台湾に本社を有する船会社を訪問し、八戸港の優位性と地域の豊富なコンテナ貨物需要について説明するとともに、八戸~台湾間コンテナ直航便の開設を要望しました。

(詳細は次ページ)



南星海運(株)本社にて
左:金会長 中:小林八戸市長 右:徐社長



釜山新港の広大なコンテナターミナル

八戸港コンテナ定期航路交流ミッション2012

1 八戸港のコンテナサービス拡充について

○船会社等訪問

韓国では、八戸港にコンテナ定期航路（中国・韓国航路）を就航している南星海運株式会社の本社（ソウル市）、及び釜山事務所を訪問し、今後のサービス拡充や可能性について、前向きな意見交換を行いました。

また、台湾においては、台湾に本社を有する船会社等を訪問し、八戸港の優位性と安定したコンテナ貨物需要について説明した上で、八戸～台湾間のコンテナ直航便の開設を要望しました。

○釜山港湾公社（BPA）、釜山新港視察

世界第5位のコンテナ取扱港である釜山港の視察にあたり、同港が国により集中的に整備された経緯について、釜山港の開発と管理運営を業務とする釜山港湾公社（BPA）にて説明を受け、その後、釜山市の西方40kmに移動し、海岸を浚渫、埋め立てて作られた釜山新港の壮大な埠頭を見学用施設から俯瞰し、ターミナル内も視察しました。



釜山港湾公社（BPA）訪問



見学用施設にて説明を受ける



釜山新港ターミナル

2 販路拡大に向けた現地事情調査（現地関係機関の訪問）

韓国では、自治体国際化協会（CLAIR）ソウル事務所、日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所、及び韓国貿易投資振興公社（KOTRA）本社を訪問しました。また、台湾では交流協会台北事務所を訪問し、それぞれ現地事情の聞き取りと、販路開拓のための意見交換を行いました。

3 八戸港のPR

韓国ソウル市内において「八戸港レセプション」を開催し、八戸港と青森県産品についてPRしました。会場では八戸港の概要説明のほか、南星海運(株)徐社長のスピーチ、南星海運(株)のコンテナ航路を活用した小口混載貨物サービスについてご紹介し、会場内では県産品を試食・試飲していただき、参加者の関心も高く大変好評でした。



南星海運(株)徐社長によるスピーチ



盛況だった県産品試供コーナー

今回のミッションの成果を活かし、八戸港の航路拡充と県産品の輸出促進に取り組んで参ります。

台湾・香港国際食品見本市へのブース出展



(財)むつ小川原地域・産業振興財団
の支援を受けて実施しています。

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、(財)むつ小川原地域・産業振興財団からの助成を受け、地場産品の海外販路拡大、市場のリスク分散、青森県産食品の安全性のPRのために、二つの海外展示会に出展致しました。

一つ目は、「フード台北 2012」です。これは、台湾内から45,310人が、国外から約5,150人が参加する、アジア最大規模の食品関係見本市で、6月27日から30日にわたり、台湾の台北市において開催されました。

今回のフード台北では、日本と台湾との交流の窓口であります(財)交流協会が、東日本大震災の被災地支援事業として日本交流協会・パビリオンを設置しており、当協議会とは別に、八戸市としてもこのパビリオンにブースを出展しています。

二つ目の展示会は、「香港フードエキスポ 2012」です。これは、26の国と地域から1,100の出展者が参加し、各国・地域から16,000人を超えるトレードバイヤーが来場する食品関係の見本市で、8月16日から18日にわたり、中国の香港特別行政区において開催されました。

フード台北では5社が、香港フードエキスポでは4社が出展し、主にアジア圏のバイヤーと商談を行いました。

当協議会では、今回の経験・ネットワークを活かし、関係機関と協力して、八戸港を通じた更なる販路拡大、貿易振興に取り組んで参りたいと考えております。



フード台北 (協議会ブース)



フード台北 (八戸市ブース)



香港フードエキスポの様子

「はちのへ水産加工品展示会 2012」海外バイヤー来訪

八戸商工会議所の主催により、6月27日、八戸プラザアーバンホールにて「はちのへ水産加工品展示会 2012」が開催されました。同展示会は、八戸の水産加工品を県内外に紹介することで販路拡大につなげることを目的とし、今回は市内や県外企業の仕入れ担当者など、約750名が訪れました。

展示会では、水産加工業者を中心に13事業所・2団体がブース出展し、八戸港が全国一の水揚げを誇るイカや、サバを原料にした加工食品等の新商品が多数出品されました。

会場には、ジェトロ青森が招聘した海外バイヤー2名も来場し、商品について詳細な説明を求めるほか、真剣な眼差しで試食を行う姿が見られました。海外バイヤーは会場での商談後も、展示会に出展していた企業の加工工場を直接訪れ、現場を視察しながら熱心に担当者の話を聞き、高度な衛生管理の下で製造されている商品であることに関心を寄せていました。

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、これからもジェトロ青森や商工会議所ほか関係機関と連携を取りながら、海外への販路拡大に向けて取り組んで参りたいと考えております。



試食を行うバイヤー



展示会場の様子

八戸港セミナー開催

1 八戸セミナー2012（東京・名古屋）

八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会の主催により、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を中部圏及び首都圏の企業にPRするため、7月24日に名古屋市、翌25日に東京で「八戸セミナー2012」を開催しました。

セミナーには、船会社はじめ荷主企業や関係者など延べ434人（名古屋80人、東京354人）の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは主催者から八戸市及び八戸港の概要をはじめ、企業誘致や八戸港の利用促進を図るための各施策についてご紹介した後、名古屋会場では、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)エコノミストの内田俊宏氏から、「輸出環境の構造変化と国内生産の重要性～八戸の持つポテンシャル～」と題して、多摩川精機(株)常務取締役の関重夫氏から、「多摩川精機の八戸地区での事業展開～多摩川精機のグローバルビジョン～」と題して、それぞれご講演いただきました。

また、東京会場ではエプソンアトミックス(株)代表取締役社長の赤羽史明氏から、「八戸発の独創技術で世界を拓く」と題して、南星海運ジャパン(株)セールsteam部長代理兼カスタマーsteamリーダーの黒澤教雄氏から、「南星海運による八戸港航路説明」と題して、それぞれご講演いただきました。

セミナー後の情報交換会の場においては、個別に八戸市や八戸港についてご紹介いたしました。



八戸港を紹介する小林市長



南星海運ジャパン(株)黒澤氏による講演



会場の様子（東京）

2 八戸港貿易促進セミナー in 盛岡

八戸港国際物流拠点化推進協議会主催により、主に北東北の荷主企業に対して八戸港のコンテナサービスをPRし利用の拡大を図るため、11月9日に盛岡市にて「八戸港貿易促進セミナー in 盛岡」を開催しました。

セミナーには荷主企業や金融機関の担当等、62人の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは八戸港の概要について説明した後、ジャパン・バン・ラインズ(株)国際航空貨物部長の伊原俊裕氏から、「サプライチェーンのボーダレス化と八戸港発混載サービス」と題して、(株)日本政策投資銀行地域企画部課長の大西達也氏から、「『地域づくり健康診断』の視点からみた北東北活性化へのヒント」と題して、それぞれご講演いただきました。

セミナー後の情報交換会の場でも、活発な意見交換が行われました。

今後も、セミナーにご出席いただいた皆様との情報交換を図り、八戸港の貿易促進と地域産業の活性化につなげてまいりたいと考えております。



ジャパン・バン・ラインズ(株)伊原氏による講演

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成24年12月現在、香港、中国天津、シンガポール、米国ワシントン州タコマに在住の4名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課(TEL0178-43-9244)までご連絡ください(なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もあります)。

REPORT

香港レポート



香港のスーパー利用術

Nuvo Instrumental (Asia) Ltd.
International Sales Manager
樋川 真奈子 さん

八戸のみなさま、こんにちは。香港海外経済協力員の樋川と申します。香港に住んで13年目になります。私が今住んでいるのは、香港島の銅鑼湾(コズウェイベイ)と呼ばれる商業施設が密集する大変賑やかなエリアです。2年前に空港に近い静かな住宅街からここに越してきました。徒歩3分圏内に24時間営業のスーパー、デパート、映画館、郵便局、銀行、電化製品店など、ありとあらゆる物が揃っています。今回はそんな場所に住む私のスーパーマーケット利用術をご紹介します。

銅鑼湾にはローカルの二大スーパーマーケットの他に、住人と観光客が良く来るSOGO(現在は現地の会社が運営)と日本や海外の商品を多く扱うCity Superがあります。どちらも置いている食材がバラエティ豊かで、調味料や質の良い日本の魚が欲しい時にはよく行っていました。難点はどうしても価格

が高くなってしまいます。例えば、日本ブランドのヨーグルト(500g)が約500円、大根1本300円、長ネギ2本で300円、というように、毎日の食卓に並べるには勇気がある値段です。

その銅鑼湾エリアにこの夏さらに2つのスーパー(1つはイオン系のマックスバリュ)がオープンしました。すでに4つあるのにその上に2つも参入し、それぞれの店が競合しあい大丈夫かしらと心配でしたが、消費者にとっては選択肢が増え結果的に助かっています。私も賢い消費者になれるようこの6つの店のそれぞれの特徴を上手く活かして買い物をするように心掛けております。

日本人が主な顧客かなと思っていましたが、さにあらず、日本食に関心のある結構な数の現地のお客さんを見ます。ちなみに、香港人はお刺身では鮭を好む人が多く、回転寿司に行っても並んでいるものは圧倒的に鮭です。

以上簡単ですが市場の様子と利用術をお知らせしましたが、私としては今後もっと日本の物、青森の物を香港で買えるようになるとういなど願っています。



City Super 店内の様子



マックスバリュ

青森県農林水産物輸出促進協議会水産加工部会 海外販売促進事業 高雄食品見本市 2012

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、11月1日～4日にかけて、台湾の高雄市で開催された「高雄食品見本市2012」に参加しました。今回の見本市は青森県農林水産物輸出促進協議会の事業として出展したものです。高雄市は台湾の南西部に位置する港町で、人口は台北市より多い約277万人です。(台北市の人口は約265万人)

見本市は高雄市最大のイベント会場である高雄アリーナで開催され、台湾の食品企業を中心に155の企業が出展しました。青森県内からは4つの企業・団体が参加しました。当協議会では鯖加工品とチーズケーキを出品し、現地での反応を探りました。

会場にはバイヤーの他、多くの一般市民が来場しました。青森県のブースは出展していた他のブースと比較しても大変盛況で、常に来場客で賑わっていました。実際に商品を試食していただき、多くのご意見や感想を伺うことができました。

また、高雄の百貨店「大立精品」で市場調査・担当者との意見交換を行いました。

台湾には青森県産りんごが輸出されていることもあり、「青森ブランド」が浸透しています。この知名度を生かし、水産加工品等のりんご以外の製品の輸出の可能性も大いにあると感じました。



青森県のブース



試食の様子



大立精品での意見交換の様子

『海外ビジネス取組事例集』と海外ビジネスセミナー

青森県では、株式会社八戸港貿易センターへの業務委託により『海外ビジネス取組事例集』を作成し、これから海外展開を考えている企業・団体の参考としていただけるよう広く配布を行っています。海外ビジネスに取り組む県内企業 100 社以上にヒアリングを行い、うち 24 社・団体の取組をご紹介します。

また、事例集の作成の周知と海外ビジネスに関する情報提供のため、青森県内 3 か所において海外ビジネスセミナーを開催しました。

青森市においては、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)青森貿易情報センターと共催でジェトロの知的財産権専門家 横山方一氏を招き、「企業における知財の取組」と題し、知的財産権の基礎から、中国での商標権問題とその対応についてご講演いただきました。

八戸市と弘前市では、(独)中小企業基盤整備機構東北本部と共催で「食品における海外展開の戦略と戦術」と題し、中小機構国際化支援プロジェクトマネージャー 太田光雄氏にご講演いただきました。講演では、巨大な市場として注目される中国のリスクの大きさにも着目し、失敗の実例を交えながら、海外展開のポイントについてわかりやすく解説がされました。

※『海外ビジネス取組事例集』をご希望の方は、右記お問い合わせ先へご連絡ください。



八戸会場でのセミナーの様子

お問い合わせ先

- 青森県観光国際戦略局国際経済課 経済交流グループ
〒030-8570 青森市長島 1-1-1
TEL:017-734-9730 FAX:017-734-8119
Email: kokusaikizai@pref.aomori.lg.jp
- 株式会社八戸港貿易センター
〒039-1162 八戸市豊洲 3-9
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503
Email:mail@hptc.co.jp

八戸港の貿易概況報告(平成24年1月~9月)

<概況>

輸出入金額は9月までの累計で、対前年比プラスであるが、東日本大震災前年の平成22年に比べると輸出額が7割弱となっている。コンテナ通関本数は、輸入分が2年前の実績を超えており順調である。

■平成24年1月~9月の貿易速報値(金額単位:千円)

※資料:八戸税関支署発表の貿易概況
(八戸港・むつ小川原港・久慈港)から抜粋

輸出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	21,962	2,068,440	228.2%	205.1%
原皮及び毛皮(未仕上)	MT	3,479	479,326	164.3%	196.8%
鉄鋼くず	MT	30,169	1,028,848	197.9%	181.7%
有機化合物			340,657		93.7%
鉄鋼	MT	127,296	31,730,601	229.6%	148.6%
非鉄金属	MT	2,418	359,420	162.6%	127.7%
一般機械			27,928,328		99.2%
船舶類	NO	7	19,075,148	87.5%	80.0%
その他			1,001,127		82.3%
合計	-		84,011,895		109.1%

輸入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	6,592	2,463,008	245.5%	171.7%
とうもろこし	MT	619,744	16,320,303	100.2%	96.4%
こうりゃん	MT	151,225	3,670,950	94.7%	89.3%
植物性油かす	MT	198,339	7,353,059	111.6%	104.4%
木材			695,200		192.5%
粗鉄物	MT	141,705	1,390,126	217.9%	577.9%
ニッケル錠	MT	1,865,387	10,709,759	212.9%	156.0%
鉛錠	MT	10,810	1,798,838	50.0%	76.4%
亜鉛錠	MT	106,496	5,504,068	183.4%	149.8%
非鉄金属くず	MT	10,255	527,643	126.7%	114.9%
石炭・コークス・練炭	MT	517,885	7,064,842	124.8%	122.2%
肥料	MT	56,595	2,643,771	593.6%	737.7%
その他化学製品	MT	11,108	709,369	141.7%	126.5%
ウッドチップ	MT	599,341	11,862,169	179.3%	179.9%
織物用糸・織物			422,675		165.8%
非鉄金属	MT	93	67,120	172.2%	219.3%
金属製品			698,487		153.7%
一般機械			3,785,183		444.9%
電機機器			1,496,019		908.4%
再輸入品			456,561		72.1%
その他			8,843,716		70.1%
合計			88,482,866		123.3%

●コンテナ貨物通関本数()内は対前年比

	本数累計	前年比	前々年比
輸出	7,519TEU	176.6%	92.9%
輸入	7,627TEU	147.2%	103.2%
合計	15,146TEU	160.5%	97.8%

●月別貿易額 比較推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年比(23年)	60.9%	106.5%	209.7%	348.8%	282.8%	97.3%	69.4%	125.3%	73.4%			
前々年比(22年)	76.9%	137.4%	100.8%	94.2%	71.3%	69.0%	70.3%	86.1%	62.4%			

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便 (水・木)	《寄港地》 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、天津新港、大連、青島、寧波) 《接続地》 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	北米航路	WSL (Westwood Shipping Lines) (株)横浜コンテナライン	八戸港湾運送(株) 八戸通運(株)	-	《寄港地》 アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山 《接続地》 世界各港
内航	内航フィーダー航路	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	《寄港地》 東京・横浜 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便	《寄港地》 東京、横浜、清水 《接続地》 世界各港

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	5
光陽(韓国)	4	9
蔚山(韓国)	5	10
基隆(台湾)	6	15
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	12	17
香港(中国)	14	12
大連(中国)	10	11
青島(中国)	11	10
上海(中国)	6	8
天津新港(中国)	8	13
寧波(中国)	5	9
蛇口(中国)	16	13
シンガポール	17	24
ジャカルタ(インドネシア)	26	22
バンコク(タイ)	17	17
レムチャバン(タイ)	18	17
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	14	20
ハイフォン(ベトナム)	13	15
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルク(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



八戸港保安委員会及び八戸港危機管理コアメンバーは、9月19日、ポートアイランドにおいて、東日本大震災以降、被災した東北の港では初めてとなる「埠頭・水域保安及びテロ対策訓練」を実施し、八戸港管理所、八戸海上保安部及び八戸警察署など26機関から約100人が参加して行われました。

訓練は制限区域内に入場しようとする不審者を、ゲートで出入管理する保安要員が関係機関へ通報するとの想定から始まり、駆けつけた八戸警察署員が不審者を取り押さえる訓練を行いました。

また、海上ではテロリストが乗った不審船を追跡・捕捉する訓練を行ったほか、巡視船「しもきた」の船上では、船内に潜伏していたテロリストを捕捉する訓練や炭そ菌を処理する訓練を実施しました。

今後も、テロ等の危害行為を防止し、八戸港の安全・安心を守るため、保安の向上と危機管理体制の強化を図っていきます。



青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所
TEL:0178-23-5310 FAX:0178-23-5660

編集後記

先日、八戸せんべい汁がB-1グランプリで念願の1位を獲得しました。八戸市内のスーパーではせんべい汁用のおつゆせんべいが品薄になるという現象も起こっています。これをきっかけに八戸を訪れてくださる方が増えればよいと思います。

食べ物の話題でもう一つ。本誌記事でもご紹介しましたが、台湾・高雄市で開催されました食品見本市に参加して来ました。台湾で聞いた話ですが、日本で「饅頭」というと中身が入っているものを想像します。しかし中国語で「饅頭」というと、中身の入っていないパンのようなものを指し、日本でいう肉まんは「包子」と呼ばれているそうです。現地の方は日本で「饅頭」を食べたときに中身が入っていたので、大変面白かったとおっしゃっていました。このように、日本と呼び方が違っている例は他にもあるかもしれません。

※航路情報や寄港地毎の所要日数等は、やむを得ず変更になる場合がございます。詳細は各代理店へご確認をお願いします。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-73-9220	FAX:0178-73-9225

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内

TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp